

## 神学生として歩み始める



湘南ライフタウンキリスト教会では、この春から、2名の教会員が神学校また神学大学で神学生として学んでいます。そこで今回は、神学校の聖書宣教会聖書神学舎本科で学ぶ教会員に、4月からこれまでの神学生としての歩みを振り返ってもらいました。

(\*聖書神学舎本科:「伝道者としての召命が明確であり、卒業後は牧会者・宣教師・伝道者としての働きを目指す方のためのコース」)

### 「神を知ること」 聖書宣教会聖書神学舎本科1年 K.Y

聖書宣教会での一年目の学びも、やっと前期の学びが終わり、一区切りがついたところです。入学をした4月頃は、ちょうど緊急事態宣言の最中でした。5月に入学をし、コロナ対策のため多くの制限がある中でしたが、学びを始めることができました。多くのお祈りとご支援によって支えられていることを感謝いたします。

最近考えさせられたことは、私はまだ「神」を知らないということです。ある日の朝の祈り会で「また、神の大能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力が、どれほど偉大なものであるかを、知ることができますように。」(新約聖書エペソ人への手紙1章19節)という箇所からメッセージがありました。その時に問われた事は、「信じる者に、神の大能(非常にすぐれた力)が働くことを、私は本気で信じているのか」ということでした。日々の学びや様々な奉仕は、やはり神の助けがなくてはできません。しかし私は、神から与えられる力を信じることができず、自分の力でやろうとしてしまい挫ける、そのようなことを繰り返していたことに気づかされたのです。

また、その日のチャペルでは「主(神)よ あなたのみわざはなんと大きいことでしょう。あなたの御思いはあまりにも深いのです。」(旧約聖書詩篇92篇5~9節)という箇所からメッセージがあり、「ここでの学びの目的は、主を知ることです」と語られました。この詩篇の著者が語るように、神は、私たちが想像するよりも、または信じているよりも偉大で力があるお方です。そのことを知らずに、信じられずに歩むことはなんと苦しいことかと思われました。

このコロナ禍にあって、最近は暗いニュースも飛び交い、希望をもてないように感じることもあるかと思います。しかしそんな中にあっても、素晴らしい力をもった神は変わることなく私たちを愛し、信じる者に力を与え、導いてくださっています。その偉大な神に目を向けて、知り、信じる時に、真の平安と希望を見いだすことができるということを教えられています。